

中岳



Top contents

| | |
|-----------------------------------|----|
| 平成28年度 一般社団法人熊本市歯科医師会 定時総会 | 2 |
| 平成29年度 一般社団法人熊本市歯科医師会 審議委員会 | 4 |
| 新執行部紹介 | 7 |
| 歯の祭典 | 22 |
| 第41回熊本市歯科医師会親睦大会（ピアパーティー） | 28 |



CONTENTS

| | | |
|------------------------------------|----------|----|
| 巻頭言 | 宮本 格尚 会長 | 1 |
| 平成28年度 一般社団法人熊本市歯科医師会 定時総会 | | 2 |
| 平成29年度 一般社団法人熊本市歯科医師会 審議委員会 | | 4 |
| 新執行部紹介 | | 7 |
| 歯科救急医療協議会・開放型連絡協議会 | | 14 |
| 第75回医歯連携セミナー | | 17 |
| スタッフレベルアップセミナー | | 19 |
| 歯の祭典 | | 22 |
| 特別寄稿 | | |
| 開放型病院と共同診療 | 伊東 隆三 | 24 |
| 歯磨き巡回指導 | | 26 |
| 新入会員オリエンテーション | | 27 |
| 第41回熊本市歯科医師会親睦大会（ビアパーティー） | | 28 |
| 合同委員会 | | 30 |
| スタディー | | 32 |
| 委員会紹介（厚生委員会・学術委員会・社会保険委員会・医療管理委員会） | | 37 |
| 支部会だより（北部3支部） | | 49 |
| 新入会員紹介 | | 50 |
| スポーツの広場 | | 51 |
| 会務報告 | | 52 |
| 編集後記 | | |

表紙のことば

この日、熊本市の上空で桜の模様を描いたブルーインパルスは、熊本地震で落ち込んだ県民の心を励まし力づけてくれた。

(N. O)

巻 頭 言

3 期 目 に 向 け て



宮本 格尚 会長

6月29日（木）に行われました定時総会におきまして、13名の理事と2名の監事が選出されました。その後行われました第1回の臨時理事会におきまして、理事の互選により3期目の会長に推挙いただきました。感謝申し上げますとともに、身の引き締まる思いでいっぱいです。

昨年は何と言いましても青天の霹靂ともいえる2回の熊本地震に被災しました。会員に人的被害が無かったことが不幸中の幸いでした。今年は復興元年ということで、まだまだ復旧復興道半ばという会員も多くいらっしゃいます。市歯会といたしましても、できる事は今後も継続的にしっかりとサポートさせていただきたいと思っております。今回のような地震は二度と起きてほしくないと思っておりますが、地震以外にも台風や水害、阿蘇の噴火等、今後も自然災害に見舞われる可能性もあると思っておりますので、今回の地震を教訓にして、日頃からしっかりとした対応策を準備しておかなければいけないと痛感している所です。

また、7月1日より新支部への移行が行われました。常々、支部が盛り上がらないと歯科医師会も盛り上がらないと考えております。旧支部におきましても各支部で様々な集まりが行われていたと思いますが、出席者の顔ぶれがどうも固定化していたようです。特に、若い先生方の参加が残念ながら少ないように感じます。今回の支部割りは、各区ごとで行っておりますので、新支部は今まで以上に地域と密着した顔ぶれとなっております。新しい支部の歴史を作る第一歩ですので、ぜひとも多くの先生方に積極的に参加していただいて新支部を盛り上げていただきたいと思いますと思っております。近くの先生方と顔の見える関係を作っておくことは、地域の歯科環境の向上にもなりますし、トラブル防止にもつながると思っております。今まで支部活動に対して少々縁遠かった先生方も、今回が新たなスタートになりますので、この機会にぜひ新支部への一歩を踏み出していただきたいと思いますと切に願っております。それが、ひいては厳しいと言われ続けている歯科界の底上げにもつながると信じております。

最後に、今回3期目の会長を任せていただく事になりました。気持ちを新たに会員のためになる事業の計画と執行を行っていく所存です。この4月から会費徴収が均等割り一本化に移行しましたが、会費収入の総額は前年度よりも実は下がります。そのため、皆様からお預かりした貴重な会費の無駄遣いが無いように、しっかりと注視して行きます。また、会の仕事に滞りが出ないように次世代に移行していく事も大変重要な仕事だと思っております。次の執行部を担ってもらえる先生方がたくさん出てくるように助力して行きたいと思っております。

これから2年間、今まで以上のご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

新年度の予算及び新執行部が承認される

平成28年度 一般社団法人熊本市歯科医師会 定時総会



議案の承認に執行部一同、礼

6月29日(木)19時30分より、県歯会館3階市会議室にて、平成28年度一般社団法人熊本市歯科医師会定時総会が開催された。

1. 開会 小野秀樹常務理事
2. 議長及び副議長選出
議長 片山晃紀先生
副議長 斉藤忠継先生
3. 議事録署名人選出
林 昭宏先生
秋山 清先生
4. 物故会員に対する黙祷
H29.4.4 野村雄幸先生
H29.4.20 吉崎久幸先生



当選証書を受けられる宮本会長(左)

5. 会長挨拶 宮本格尚会長

【要旨】

皆さんこんばんは。本日は梅雨の半ば、大変

蒸し暑いところ、また、お忙しい中お集り頂き本当に有難うございます。本日がいよいよ、現執行部の最後の総会となります。この2年間皆様に支えられて何とかやって来れました。改めて感謝を申し上げます。この2年間を振り返ってみますと、まずは何と言いましても、昨年の熊本地震になるかと思えます。幸い会員の人的被害は無かったのですが、まだまだ復興途中の先生方もいらっしゃると思いますが、我々も何かありましたらいつでもお手伝いできるような体制をとっていきたいと思えますので、お申し付けいただければと思います。

執行部といたしましては、3つの懸案がありました。1つは会費の均等割り1本化、またそれに伴います会員種別の見直し、それから新しい支部への移行という事でした。それぞれ昨年承認を頂きました。会費関係の方は4月から既に均等割りに移行しております。新支部につきましては明後日の7月1日から実際新しい支部に移っていきます。支部割に関しましては、今までの支部に思い入れとか色々ご意見も頂きましたけれども、今後を考えて熊本市の政令指定都市の区割りに合わせるという形で今回ご承認頂きました。是非とも新しい支部が盛り上がって頂くよう先生方のご協力を宜しく願います。本日の議案で一応、我々の執行部の仕事が

終了となりますので、新しい役員選挙の話も入っております。本日もスムーズな進行に御協力を宜しく申し上げます。それでは片山議長、宜しくお願いします。



高松専務による議案説明

6. 報告

- 1-1) 会務報告 高松尚史専務理事
- 1-2) 庶務報告 小野秀樹常務理事
- 1-3) 会計現況報告 古川猛士常務理事
- 1-4) 監査報告 蔵田幸一監事
- 2) 審議員会報告 秋山 清先生



審議員会の報告をされる

7. 議事

- 第1号議案 平成28年度熊本市歯科医師会一般会計収入支出決算承認を求むる件
- 第2号議案 平成28年度熊本市歯科医師会収益事業会計収入支出決算の承認を求むる件
- 第3号議案 平成28年度熊本市歯科医師用慰金制度会計収入支出決算の承認を求むる件
- 第4号議案 平成28年熊本地震にともなう特別会計収入支出決算の承認を求

むる件

監査報告

- 第5号議案 平成28年熊本地震にともなう特別会計から熊本市歯科医師会一般会計へ剰余金戻入の承認を求むる件
 - 第6号議案 平成29年度熊本市歯科医師会一般会計補正予算案の承認を求むる件
 - 第7号議案 一般社団法人熊本市歯科医師会定款施行規則の一部改正(案)の承認を求むる
 - 第8号議案 市歯審議員、特別委員会委員及び顧問、国保組合会議員の選任に関する件
 - 第9号議案 一般社団法人熊本市歯科医師会役員選挙
 - 第10号議案 県歯代会議員及び予備代議員の選任に関する件
- 第1号議案から第10号議案まで全て承認可決された。



寺本豊徳選管委員長による報告

8. 協議

- 1. 放射線漏洩測定器の新支部移行にともなう受け渡しの件について(有働秀一医療管理理事、渡辺猛士副会長)
 - 2. 九州厚生局新技官に関しての報告(渡辺洋社保理事)
 - 9. 会長選任報告
 - 10. 閉会 渡辺猛士副会長
- (広報 田尻征久)

今期最後の審議員会開かれる

平成29年度 一般社団法人熊本市歯科医師会 審議員会



熊本地震の対応に感謝します

6月22日(木)19時30分より審議員会が、県歯会館3階市歯会議室にて行われた。

1. 点呼 小野秀樹常務理事
2. 開会 小野秀樹常務理事
3. 議事録署名人選出
北部2支部 西野隆一先生
北部3支部 谷口守昭先生
4. 物故会員に対する黙祷
東部3支部 野村雄幸先生
平成29年4月4日御逝去
中央支部 吉崎久幸先生
平成29年4月20日御逝去



支部が活性化することが大事です

5. 会長挨拶 宮本格尚会長

【要旨】

梅雨の足元の悪い中、また診療後のお疲れの中お集まりいただきありがとうございます。今回は我々執行部の最後の審議員会となります、審議員の先生方にはこの二年間、貴重なご意見や叱咤、激励をいただき我々執行部を支えてくださりまして、本当にありがとうございました。この二年間を振り返ってみると、やはり一番大きな出来事は熊本地震であります。これにより生じた種々の問題に対し、大変な中、対応していただいた会員の先生方には感謝いたします。又、歯科医師会に関しては、会費の均等割り一本化とこれに伴う会員別の直し、それから支部割りの見直しの三つの議案がありました。会費に関しましては、既に4月より執行されておりますし、支部割りに関しましても今年の7月から執行される事となっております。

歯科医師会が繁栄する為には、支部が活性化し盛り上がり頂くことが非常に重要であると考えており、我々も支部を盛り上げて行く為に努力しますので、引き続き支部長を努めていただく先生方にはさらなる協力を仰ぐと共に、今回審議員を辞められます先生方におかれましても、外から色々なご意見や助言を頂きますと助かりますので、今後とも御協力の程どうぞよろ

しくお願いいたします。又、7月にはビアパーティーを企画しております。無料で御招待しておりますが、中々参加者が思う程集まらず、特に若い会員の先生に至りましては足が遠のいていいる感じが見受けられますので、新しい支部を盛り上げるという意味でも支部長の先生方には再度支部の会員の皆さんに声をかけて頂きたいと思っております。

本日の審議委員会では、予算関係や執行部を含めた人選など色々な議題がありますので、先生方に御意見をいただきしっかりと審議を進めて行きたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

6. 報告

- 1) 会務報告 高松尚史専務理事
- 2) 庶務報告 小野秀樹常務理事
- 3) 会計現況報告 古川猛士常務理事
- 4) 監査報告 稲葉逸郎監事

質疑応答



活動費について質問

(北部3支部 谷口守昭先生)

事業活動支出の地域学校歯科保険委員会費において活動支出費が0(ゼロ)となっておりますが、これに関しましては必ず何らかの活動に伴う支出費があると思われまので、0(ゼロ)はありえないと考えられますが、いかがですか？

(執行部)

これは、口腔衛生週間や歯の祭典などの事業活動の絡みがありまして、行政より補助金が出ている為、先ずはこの補助金を出費として

当てていますので、調整の上書類上において0(ゼロ)と計上しています。

7. 審議事項

1. 平成28年度熊本市歯科医師会一般会計収入支出決算について
2. 平成28年度熊本市歯科医師会収益事業会計収入支出決算について
3. 平成28年度熊本市歯科医師会弔慰金制度会計収入支出決算について
4. 平成28年熊本地震にともなう特別会計収入支出決算について 監査報告
5. 平成28年熊本地震にともなう特別会計から熊本市歯科医師会一般会計への余剰金戻入について
6. 平成29年度熊本市歯科医師会一般会計補正予算案について
7. 一般社団法人熊本市歯科医師会定款施行規則の一部改正(案)について
8. 市歯審議員、特別委員会委員及び顧問、国保組合会議員の選任に関する件について
9. 一般社団法人熊本市歯科医師会役員選挙について
10. 県歯会代議員及び予備代議員の選任に関する件について

質疑応答



水道光熱費について質問

(北部2支部 西野隆一先生)

歯科医師会の支出費における水道光熱費が予算よりも3倍近くかかっていますが、水漏れか何か故障があるのではないですか？

(執行部)

実は、予算額よりも3倍近いこの金額が実際の水道光熱費であったのですが、これまでは水道光熱費として不足している額を一般会計より補填し収益事業の支出として調整し計上していました。しかし、これでは現実的ではありませんので平成28年度より、適正に費用を調整し事実に基づいた現実的な水道光熱費として計上できるようにしていこうと思います。

(熊本市歯科医師会定款施行規則の一部改正案についての報告)

定款施行規則第17条に記載されている裁定審議会を裁定審議委員会と改正する。

8. 協議

(医療管理委員会 有働秀一理事)

放射線漏洩測定器の貸し出しについてですが、6月までに旧支部を対象とした貸し出しを終了し、7月からは新支部を対象にした測定器の貸し出しを実施していこうと計画しております。予定表につきましては、後日、各支部長に送付いたしますので御協力の程よろしく願いいたします。

(北部3支部 谷口守昭先生)

この放射線漏洩測定については法令にて定められており、年に2回は測定する必要があります。測定器の貸し出しに関しましても会員間の受け渡しがスムーズに行けば良いのですが、放射線漏洩測定の必要性があまり理解出来ていないのか、時折、一医院にて停滞することもあるようです。つきましては歯科医師会より、測定的重要性を周知徹底する意味も込めて測定法や書類の記載法などを教えるためにセミナーを開いて頂けませんかでしょうか。

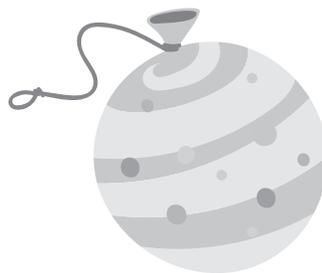
(社保委員会 渡辺 洋理事)

現在、熊本県には指導医療管が在籍しておらず、福岡県の指導医療管が兼任しておりましたが、7月からは新しい指導医療管が熊本県にも就任される事か決まりました。

未だ、どのような方が詳しい情報がありませんので会員の皆さん、特にこれから集団、個別指導等を控えられている会員の先生方は気を引き締めて指導を受けられるようお願いいたします。

10. 閉会 田中弥興副会長

(広報 濱坂 上)



新しい執行部を紹介します

—— 新執行部紹介 ——



新任 4 名の新執行部です



田中弥興副会長
(再任)

3 期目宮本執行部の副会長を再度拝命いたしました田中弥興です。

4 年間、あっという間に過ぎてしまいました。特に昨年の地震以来この 1 年は皆様も感じられていたと思いますが、ジェットコースターに乗っているかのようでしたね。

さて、前期は懸案でありました会費徴収方法改訂や支部、会員種別などの組織改編は、皆様のご理解とご協力により完了することができました。ありがとうございました。

しかし、小学校フッ化物洗口普及事業は行政・学校を交えてのことで遅々として進みません。残るは熊本市のみとなっております。執行部でもいろんな方面へ働きかけはしておりますが、地域で皆様から学校現場との接点がありましたら、声を上げていただければ幸いです。より強力な援護射撃になりますので、よろしくお願いいたします。

それから前期より引き続き百周年記念誌編纂準備委員会を担当することになりましたが、本会発足から昭和42年ごろまでの資料がほとんど見つかりませんでした。

今期も探し続けてまいります。その時代の写真や資料等ございましたら、よろしくご協力をお願い申し上げます。将来の子供たちのために市歯科医師会の歴史を整えて、本会の活動に協力頂いた先人の思いを残したいと思います。

最後のご奉公と思ひ、宮本会長を補佐して会務に取り組んで参りますのでよろしくご指導ご鞭撻ほどお願いいたします。



渡辺猛士副会長
(再任)

6月の定時総会にて熊本市歯科医師会理事に選任していただき、互選により副会長に再任されることになりました。選任いただきました先生方には誠にありがとうございました。

現在、私たちは社会保険の縛りから、医療の安売りを強要される形になっており、残念ながら歯科界には閉塞感が漂っているところですが、そんな中熊本市でも医科歯科連携の推進は着実に進んでおり、入院・入所者の歯科医療ニーズは以前より顕在化してきて、医科における歯科の重要性が再認識されつつあるようです。また、世間一般、マスコミなどを見ましても口腔衛生と全身の健康というものが多く取りざたされるようになってまいりました。歯科界としましては今こそこれを追い風に歯科の重要性を発振する大きなチャンスなのではないかと考えております。ただし、これに関しましては方向性を見誤って医科の便利屋になってしまわないように気をつけることも重要だと認識しております。

また、歯科界を見回してみますと、CTの一般化やインプラントを含めた補綴はもとより、歯内療法、光学印象、CAD/CAMの臨床応用など新技法、新材料、新しい考え方などが多く登場してきており、今までの既成の概念だけを堅持することに危機感を持たねばならないと感ずる所でもあり、広く会員の皆様と研鑽を積む必要性を感じております。

一方行政に於きましては、九州8市歯科医師会や、他の政令指定都市歯科医師会との意見交換により、熊本市ではまだまだ歯科保健に対する認識が甘く、なすべき事が充分になされていないのが実情であることが分かっております。熊本市の担当部局と話をするたびに靴下搔痒の感は否めませんが、ここは焦らず繰り返し理解を深めて貫くよう努力を続けているところです。

また、本会で作成しました熊本市歯科保健推進条例案はすでに市議会で上程されるだけの段階まで来ているところですが、後一押し支援議員の踏ん張りに期待するところでもあります。

今期2年間の任期ではありますが、会員の皆様のお力添えになれますよう誠意を持って会務を勤めさせていただきますので、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



高松尚史専務理事
(再任)

早いもので、専務理事を拝命して4年がたちました。今回再び、重職を担うことになりました。

本会では今年度は大きな変革の時期となります。すでに会費の均等割一本化と会員種別の変更がおこなわれております。これにより会務運営の安定や非会員の入会促進、ならびに会員の状況にあわせた会費徴収など、多くの利点があります。

さらに、7月からは行政区割り及び小学校区割りに沿った支部割の変更も行われました。新しい支部に移行することに不安の先生もいらっしゃると思いますが、同じ熊本市会員として、新たな支部の歴史を作っていただきたいと思います。熊本市が政令指定都市に移行して、5年がたちました。行政運営の充実はこれからですが、他の政令指定都市などでは、区ごとに行政・医療関係団体と共同で様々な活動を行っています。これらの地域の単位が、国が提唱する地域医療構想や地域包括ケアシステムなど、医科を中心に地域密着の活動する単位となっています。歯科もそれらの中核をなすことにより、市民に歯科の重要性を認識できるようにしたいと考えます。

これからは、行政に対し、様々な事柄（フッ化物洗口の進展・熊本市口腔保健条例の制定・障害者歯科診療の充実・市民への歯科健診の啓発・成人歯科健診の開始・委託事業の検討など）に関して、今まで以上に提言し実行していきたいと考えます。また、新しい支部運営の充実・活性化をお手伝いし、支部との連携を深めたいと思います。さらに、県歯・日歯や医療関係団体と相互に連携し、地域医療の充実を図ることにより、本会会員の地位向上を目指します。

停滞することは後退を意味します。先人の会員からの大事なことは、継続しながら、必要な部分に変革を進めながら、発展・継続する歯科医師会を目指したいと思います。



小野秀樹常務理事
(再任)

これまで2期4年間、庶務担当常務をしていましたが、今期より会計担当常務を拝命することとなりました小野秀樹です。

本会は今年度より会費の徴収方法を均等割に一本化し会費収入の安定化を図るところです。しかし今後、会員の高齢化、終身会員比率の増加に伴う会費収入の減少が懸念されます。また、行政よりの補助金は減額される一方で、本会会計は厳しい状況となっています。本会が活発な活動を行なっていくには今後も、新規開業者の入会、未入会者の入会促進の対策が必要です。また、今は予算が潤沢にあった時代とは違います。限られた予算の中での効果的で有効な会の運営を考えていく必要があります。会計に関しては今回初めて担当し、その内容については知らないことばかりですが、担当理事として1日も早く会計内容を把握し、宮本会長をサポートできるように頑張ります。重責ではありますが微力ながら務めさせていただきます。



渡辺 洋常務理事
(新任)

この度常務理事を拝命いたしました渡辺洋です。長く社保畑におり今期も県の委員を続けてまいります。庶務業務に支障のない範囲で社保の動向をフォローしていくつもりです。今後ともよろしくお願いいたします。



温 永智広報理事
(再任)

今期も広報を担当する温永智です。3期目になります。
執務した4年間の間に、いろいろなご意見を頂き、今期はそれを生かしていきたいと思えます。

「中岳」においては熊本市歯科医師会であった総会、審議員会、研修会、行事、投稿、スポーツ、新入会員の紹介などを行い、「かわら版」では1カ月間の役員会の報告、お知らせをメインに情報発信を行ってきました。

目にして頂けた方には、多少なりともお役に立てたかとは思いますが、せっかくの情報誌ですので、会員の皆様方にも投稿という形で積極的に参加して利用して頂ければより充実するのではないかと思います、また期待します。双方で情報を発信していく紙面づくりを今期は目指したいと思えます。どうかよろしくお願い致します。



井手裕二
地域学校歯科保健理事
(再任)

引き続き、地域学校歯科保健委員会の学校歯科を担当します、井手裕二です。

主なイベントとして、「歯磨き巡回」と「歯の祭典」です。

地震の影響で、「健康フェスティバル」は、しばらくの間、開催されないようです。

新任の後藤理事と協力して頑張っていきたいと思えます。

よろしく申し上げます。



嶋田英敏厚生理事
(再任)

市厚生委員会では仕事内容の見直しを進めています。今期もさらに合理化を図り、かつ親睦会を質的に向上させ参加者を増やすことを目標に活動します。そこで親睦会テーブル割りの支部単位への変更ですが、これは新支部編成に伴い各支部の親睦・団結を深めるものです。(震災時行政協力に際し支部団結の必要性は皆さま痛感されたのではないのでしょうか) また歯科医師年齢階級の多数層が高齢化を迎えている現在、緊急代診派遣制度の充実喫緊の課題として引き続き充実・検討して参ります。



井口泰治社保理事
(新任)

今期より社保委員会の理事を担当させていただきます井口です。
社保委員会に入ったのは平成15年ですから、経験だけは15年目に突入しました。長い経験のわりに知識も能力も理事としてはまだまだ不十分ですが、会員の皆様が安心して保険請求ができますよう、また、個別指導の不安が少しでも軽くなりますよう全力を尽くしていく所存です。

社保委員会の仕事は特に目立つ必要もなく、目に見える形を残す必要もないと思います。いつも会員の先生方の側において、皆様に寄り添っている、そんな委員会を目指して活動してまいります。

それから、現在、歯科保険医療を取り巻く環境はかなり厳しいものとなっています。この状況が少しでも好転していくよう対外的な働きかけも頑張っていかなければと考えています。

2年間よろしくお願い致します。



大塚昭彦学術理事
(再任)

今期、3期目の学術委員会理事を担当させて頂くことになりました大塚です。
これまでの2期4年間、試行錯誤しながら会務運営を行ってきましたが、皆様のお役に立てたのか自問自答しております。

学術委員会では、年間3回の学術講演会を行うことを基本としています。会員の皆様に対して有益な情報を発信するべく日頃より努力しておりますが、先生方で臨床における疑問点や、“〇〇先生の話が聞いてみたい”、“〇〇分野の情報は何かないのか?”等のご要望があれば、私共にお申し付け下さい。なるべく会員の皆様の意見を取り入れて魅力ある講演会の企画、学術的情報の発信を行っていきたく思います。

今期はこれまでの経験を活かし、さらにパワーアップして会務に携わっていきたく思いますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



有働秀一
医療管理理事
(再任)

医療管理の理事を仰せつかりはや4年が経過し、保健所対応、病院連携、スタッフ向けセミナー、労務関係他各種講演会と毎年、目の前の仕事をこなしていくことで過ぎてきました。支部割の移行に伴い放射線漏洩測定器の回し方に関して多少不便を感じさせることもあります。これまで同様迅速に次の医院へまわしていただきますようご協力お願い致します。委員会として今後も医療管理に関する有意義な情報提供をしていきたいと考えます。

また、医療相談も引き続き担当します。ここ数年は相談件数も減少傾向にあります。これは先生方が患者さんとしっかり向き合い、説明が徹底されたことによるものと思います。自身の医院を守るためにも患者とのコミュニケーションをこれまで同様に行っていただければと思います。今後も委員会では先生方へのお願い事は、文書にて提供・共有したいと考えています。これまで同様ご指導を宜しくお願い申し上げます。



後藤俊秀
地域学校歯科保健理事
(新任)

この度、地域学校歯科保健委員会の理事を拝命しました後藤と申します。
平成21年より同委員会の委員になり、平成27年には旧地域保健委員会と学校歯科委員会が合併して新しい委員会となりました。

主に歯の祭典や健診などの仕事を受け持っています。
理事の仕事は初めてなので同じ委員会の井手理事にはご迷惑をおかけするかと思いますが、少しずつ勉強していきたいと思えます。

また、委員の先生方には今期からあらためてお世話になります。
拙い委員運営になるかと思いますが、頑張りますのでよろしくお願い申し上げます



蔵田幸一
監事
(再任)

今期3期目の監事を務めます蔵田です。
前期までの宮本執行部では、3つの大きな課題、1つ目は会費の一本化、2つ目はそれに伴う会員種別の変更、3つ目は支部割りの変更でした。1つ目に関しては色々なシミュレーションを行い、会員に説明して参ってきました。2つ目も同じですが、特に終身会員の種別に関しては苦労していたようでした。3つ目は、熊本市が政令指定都市になり市内が5つの区に分かれたため、本会の支部割りと合致しなくなり都合が悪くなったため行ったことでした。これらに関しては、いろいろと会員の皆様から意見がでりましたが、何とかご理解をいただき実行することができました。1つ目、2つ目に関してはこの4月から、3つ目に関しては7月から始まりました。

また、これとは別に、公益法人改革に伴う本会の遊休財産処分については、先日の総会后に報告書を県庁に提出して、一応終わりとなりました。

以上、報告となりましたが、今期も監事として宮本執行部を見守っていきたく思います。どうかよろしく願いいたします。



古川猛士監事
(新任)

今期から監事を拝命しました。これまでは執行部の一員として内側からみていた事柄を外から眺めていくこととなります。会員の会費で成り立っている歯科医師会であることをいつも念頭に置きながら事業を見ていこうと思いますので、よろしくお願ひします。

理事退任あいさつ



古川猛士常務理事

今期をもちまして常務理事を退任することとなりました。ちょうど公益目的支出計画も終了し、キリがいいところであります。

前期には、会長、専務の尽力で会費均等割り一本化、それに伴い会員種別の見直し、また熊本市の区割りに沿った新支部の制定など、本会の懸案事項はひとつおりに片付いたのではないのでしょうか。

ただ波に乗ってふらふらしていただだけのような私ですが、周りの俊英に囲まれていたおかげで何とか破綻をきたすことなく乗り切った2年間でした。皆さんにお礼を申します。



井野 健
地域学校歯科
保健委員会理事

平成25年から4年間地域学校歯科保健理事として、皆様には大変お世話になりました、心より御礼申し上げます。とは申しましても、未熟な点や、至らなかつた点などが、多々あつたであらうと思ひます。ご迷惑をおかけしてしまつたこともあつたかと思ひますが、皆様からの温かいサポートを受け任期を終えることができました。

一つ悔いが残るとすれば、熊本地震の影響で2016歯の祭典が中止となり、今まで続けてきたイベントが私の代で中断してしまつた事が心残りです。震度7の地震に二度も見舞われれば仕方のないことかもしれません。しかし、この未曾有の災害であつたにもかかわらず、歯科医師会で災害対策室を設置し、情報収集や支援活動を速やかに行へた事は、歯科医師会の団結力の賜物だつたと思ひます。先生方自身も被災されているなか、

動ける先生方が一致団結して活動する姿が誇らしく思ひました。

歯科界を取り巻く環境は、診療報酬にしても金バラ高騰、衛生士不足など年々厳しさを増すばかりです。歯科医師会としてもこの厳しい変化に会全体で対応し、対策を講じなければなりません。理事は退任しますが、協力は惜しまずやらせて頂く所存です。

過ぎてしまえば早いものですが、充実した時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

協議を重ねて歯科救急医療のさらなる充実を 歯科救急医療協議会と伊東歯科口腔病院との開放型連絡協議会

4月17日（月）19時30分より県歯会館第1会議室において歯科救急医療協議会及び伊東歯科口腔病院との開放型連絡協議会が開催されました。

出席者は国立病院機構熊本医療センター歯科口腔外科部長の中島健先生、熊本市市民病院歯科口腔外科部長の太田和俊先生、熊本大学歯科口腔外科から中山秀樹教授、宇治歯科医院院長の宇治寿隆先生、伊東歯科口腔病院から病院長の伊東隆三先生、副院長井原功一郎先生、診療科長の中井大史先生、事務局長の相良孝治様と総務の坂本雅一様、また熊本市歯科医師会からは、副会長の渡辺猛士先生、専務理事の高松尚史先生、厚生委員会理事の嶋田英敏先生、医療管理委員会理事の有働秀一先生と委員長の私高橋禎でした。

まず、渡辺先生より開会の挨拶があり、昨年の熊本地震での対応と救急医療を依頼している4つの病院へお礼を述べられ、歯科救急医療の必要性を話されました。歯科医師会も日、祝日昼間の休日診療を会員全員の輪番制にして稼働していることを述べられました。



市歯会会員も輪番制で対応

つぎに協議題に入り、各医療機関より1年間の救急医療の報告をしてもらいました。まず、歯科医師会の嶋田先生より日曜祝日救急歯科利用状況（昼間の10時～16時）について説明がありました。平成28年4月から平成29年2月まで

の日祝日の昼間の当番医診療状況は4月は地震のため8件でしたが、おおむね1月あたり20件程度、多い月で27件で、合計181名でした。今年度の患者数は例年に比べ若干減少傾向でした。処置の内容は応急処置の単治、抜髄・感根処、S P、投薬が多かったです。年齢別では0～9才と50才代が多い状況でした。90才代も2名いました。夜間の患者数は今回もわかりませんでした。他の医療機関との統計を比較するうえで夜間の受診状況は必要であると考えられました。緊急性の有り無しの判定はわかりませんでした。また、歯科医師会から行政へのアプローチのためにも緊急性のある患者の把握は必要性があるという意見もありました。

次に各医療機関での救急医療状況について協議し、熊本医療センターでは平成28年度に救急外来から院内紹介された歯科救急患者数は昼間（8時半～17時）は16例で夜間は20例でした。内訳は例年と変わらず、外傷、炎症、出血、その他（顎関節脱臼など）で、6、7割が外傷でした。年齢別では今年度は若い人が多かったですが80歳代も6名いました。高齢者は外傷が多かったです。地震後の骨折が多かったということでした。地震後、自転車でがれきの中に突っ込んでしまったり、避難所でてんかんの薬が飲めなかったために起こってしまったそうです。

熊本大学では28年は平日昼間（救急外来→歯科）は13名、平日夜間は66名、土日祝日は24名で延べ103名でした。内容は外傷、炎症、疼痛等まんべんなくありました。

熊本市市民病院では地震のため、現在、救急の受け入れは小児科だけになっています。地震以来、産婦人科の診療室に2台のユニットを備え付けて診療されています。今年の1月から病棟10床受け入れ可能となり、2、3日の入院の手術なら可能となりました。ただ、麻酔科の医師が限られているため、比較的小さな手術しかで

きないのが現状だそうです。長期入院が必要な患者は熊大か国立病院に紹介しているそうです。そして、28年4月より29年2月までの救急歯科の状況の説明がありました。患者数は34名で昨年より減少しています。昼間（8時～18時）は延べ54名で、夜間は1名でした。治療内容は外傷処置が多く、炎症や抜歯・投薬がありました。そのほか、緊急性があるものは23名、ないものは11名でした。年齢別状況では、各年代において大差なく4、5名程度でした。また、今年は年末年始は、80代の患者が1名だけでした。緊急性もありませんでした。今後市民病院は健軍方面に移転し、2019年6月に完成予定で、10月から稼働予定になっているそうです。



市民病院は現在小児科のみ対応

宇治歯科医院では熊本地震のため、現在、救急患者の受け入れはしておりません。現在は別の場所で診療を行っています。

伊東歯科口腔病院において平成28年4月から平成29年1月では延べ2587名でした。その中で昼間の初診の人数は665名でした。再診は435名でした。また夜間の初診は1,024名で再診は463名でした。月別に見ると大体200名前半程度ですが、11月と12月は400名近く来院していました。治療内容は昼間は炎症処置が多く、次に投薬、再セットが続いていました。夜間では炎症処置が多いのは昼間と変わらないのですが、外傷や根管治療が昼間の倍以上になっていました。年代別に見ると昨年同様夜間の20才代が最も多かったです。年末年始の診療状況は延312名でした。内容は約半数が炎症でした年代別みると40代が他の年代の倍以上でした。

今後、歯科救急の医療体制をもう少し明確にし、統計方法のさらなる統一化をすすめることが必要ではないかと意見が昨年同様上がりました。統一フォーマットを始めたばかりなので、今後いろんな課題が出てくるのが考えられるので、この協議会で話し合っていく必要がある意見が出ました。



各医療機関より救急医療の報告

今年も救急搬送について歯科医師会から救急隊に伝えていくことでより迅速な対応がとれるのではないかと意見が出ました。ただ消防がどの程度歯科救急の受け入れ先を把握しているのかわからない状況なので、救急隊との話し合いが必要ではないかと意見が出ました。今後、歯科救急の認知度を上げていくために、救急隊との会議も必要ではないかと意見もありました。また、会員向けの歯科救急受け入れ先フォーマットの作成も検討事項の一つに挙げられました。

これからの救急歯科医療協議会の方向性について、この協議会の結果をどのように会員に伝えていくのか、早見表等の資料が必要なのか？等の意見が上がりました。

最後に、高松先生より、熊本市歯科医師会は、会員に対し救急歯科に対する現状や対応方法を伝え、会員全員の意識をあげていく必要がある。また、年末年始は3分割で対応してみても、その統計も今後取り入れていこうと述べられ閉会となりました。

続いて行われた、伊東歯科口腔病院と熊本市歯科医師会との開放型連絡協議会では、紹介23.8%、逆紹介45.2%でうまく機能していると



高齢者の外傷が多かった

のことで、また、昨年同様、共同診療の利用が少ない状態でした。患者さんも喜ばれるので、歯科医師会からも会員に対して、共同診療報酬1回につき350点つくのでさらに啓蒙活動を行ってきたいとのことでした。1日1回だが回数は特に定めがないそうです。登録医のさらなる活用を推進していくため会員に対して、開放型の意味・意義を再度周知してもらいたいとの意見がありました。伊東歯科では消灯時間の午後8時までの時間は都合の良い時間に共同診療ができる体制を整えているとのこと。伊東歯科口腔病院の病床は24床で入院期間は短くて2、3日から長い場合3週間ぐらいであると述べられました。

平成28年の外来紹介患者は2,485名で約半数が、10歳代から30歳代でした。疾患別では歯牙疾患と歯性感染症が半数以上を占め高齢者や全身管理が必要な場合が約20%でした。入院患者の地域分布では熊本市内が55.6%、県北部が30%、県南部が10.4%で県外が4%でした。入院患者を年齢別にみると平成28年では20歳代と50歳代が多い結果でした

入院患者の疾患内容は歯牙疾患と歯性感染症が最も多く、次にインプラント、顎変形症と先天性奇形が続いていました。

昨年同様、これからも開放型病院とかりつけの先生との医療連携を密に行うことによって、地域の中で機能分担を行い、地域完結型医療が達成できるので、地域の拠点病院となるように機能分担を行っていきたいと考えていると述べられました。これからは歯科の医療圏を認識してもらい、発展していくためには県歯科医師会や各郡市の歯科医師会にも協力してもらうことが必要であるという意見がでて閉会となりました。

(医療管理 高橋 禎)

「婦人科悪性腫瘍の化学療法について」

第75回医歯連携セミナー

6月15日(木)20時より国立病院機構熊本医療センター2Fの地域医療研修センターにて、第75回医歯連携セミナーが開催された。今回は「婦人科悪性腫瘍の化学療法」という演題にて医療センター産婦人科部長西村弘先生より御講演頂いた。



天草でレインボープロジェクトを立ち上げる

開演にあたり医療センター口腔外科中島先生、熊本市歯科医師会宮本格会長より挨拶があり、その後、座長の医療管理有働理事より講師紹介が行われた。

まず最初に西田先生と歯科とのかかわりについてお話しを頂いた。天草に10年以上前に勤務していたころ、レインボープロジェクトを立ち上げた。妊婦さんの5%は、子宮頸管の細菌感染によって未熟児が産まれる。その菌は口腔よりきているのではないかと、天草の妊婦さんは全て歯科に紹介していた。また現在医療センター婦人科ガン患者も全て歯科に紹介して口腔ケアを徹底しているとの事でした。歯科と医科の連携は非常に重要であると力説された。

次に産婦人科における化学療法について述べられた。代表的な治療としてConventional TC療法。主に子宮体癌、上皮性卵巣癌治療の治療に使われる。有害事象として好中球減少症や血小板減少症が起きるため抜歯は注意です。子宮頸癌に対する治療としてCCRTこの治療も好

中球減少症が起きる。抗癌剤治療の注意点として、①嘔吐・嘔気 ②好中球減少症 ③神経障害 ④oncology emergency が挙げられる。



37名が受講される

①嘔吐・嘔気

以前は苦痛度順位の上位に挙がっていたが現在はほとんどなくなり外来で済ませることが可能になった。最近では嘔吐の機序がわかってきたため、制吐剤の進歩が著しい。

②好中球減少症

抗癌剤の特徴として、活発な細胞に作用して細胞の成長を阻害するため癌細胞を縮小していく。一方、骨髄や毛根などの活発な正常細胞も死滅するため副作用が出てくる。主な副作用として、脱毛・口内炎・悪心・嘔吐・下痢・便秘・色素沈着・爪の変化・骨髄抑制が挙げられる。1番怖いのが、骨髄抑制であり好中球減少・赤血球減少・血小板減少がみられる。好中球は500/ μ 以下になると重篤な感染症を引き起こす可能性がある。寿命が10日前後のため抗癌剤投与から1週間から2週間で感染の危険性がピークとなる。赤血球は約120日の寿命があり、貧血の出現は数週から数か月と少し遅れて出現する。血小板の寿命は、5~7日と短い。2週間後に減るため患者に出血しやすい状態である事を説明し、外傷・鼻血の予防、口腔ケアをしっかりしてもらおうよう説明する。



子宮頸部癌ワクチンについて質問

③神経障害

対策のポイントととして、神経毒性は他の毒性に比べて休薬しても続くことが多いのが特徴であり、これまでに様々な試みが行われている。しかしながら、現時点では神経毒性に対する特異的な治療薬、治療法は存在しない。症状発現時には抗悪性腫瘍薬の投与の減量、中止を行うのが一般的である。

④oncology emergency

上大静脈症候群 電解質異常 脊髄圧迫 消化管の閉塞、穿孔、出血 泌尿器科的emergency (腎後性腎不全、出血性膀胱炎) 腫瘍崩壊症候群 発熱性好中球減少症

上記のようなことが起きてる場合は、すぐに医療センターに向かうよう患者に指示してほしいとの事でした。

癌、循環器、ICUの患者さんにおいて口腔ケアは基本中の基本になっていると医科の方では認識していますので歯科の先生方は大変かと思いますがお世話になりますと講演を締めくくられた。



体験をもとに質問

その後、質問の時間となり多数の質問にお答えを頂いた。

婦人科系癌患者においても、術前、術中、術後管理の際、口腔ケアの有無が予後を大きく左右します。今後ますます医科歯科連携が重要になってくるかと思しますので、より知識を深め日々研鑽を積んでいきましょう。

(医療管理 町田宗一郎)

スタッフレベルアップセミナーへの参加でスタッフのモチベーションアップと診療のレベルアップを図りませんか

～スタッフレベルアップセミナー～



実際にセメント練和の実習

6月24日(土)14時30分から、熊本県歯科衛生士学院実習室にて、株式会社GCの歯科衛生士古谷幸子先生、酒井万里子先生を講師に迎え、スタッフレベルアップセミナーが行われた。毎年この時期に、主に新人歯科衛生士、歯科助手を対象として、印象採得、石膏練和と注入、セメント練和、TBIなどの基本的な知識の習得と、実習を行うセミナーとなっている。

最初に熊本市歯科医師会医療管理理事の有働秀一先生の開会の挨拶のあと、24名の参加者が



基本的な知識と実習を講義

二班に分かれ実習が始まった。

セメント練和実習では、合着用グラスアイオノマーセメント、グラスアイオノマー系レジンセメント(充填用)(合着用/接着用)、接着性レジンセメントが用いられた。

グラスアイオノマーセメントでは合着用も充填用も必ずプラスチックパチュラと紙練板を使用する。粉液の正確な計量のためにノズルに付着した液は湿ったガーゼで拭き取ること、液は容器を逆さ(垂直)にし、指で容器をはじいて気泡を除いてから軽く押して滴下するなど配慮が重要である。粉を練板の外側寄りに出し、液は中央に出した方が練りやすい。充填用セメントの練和時には練板を広く使い、最初はパタパタと叩き込むような感じでなじませ、スパチュラをくるくる返ししながら最後までしっかりと練和する。指定の練和時間を守り、最後にしっかりと練り込む事でセメント本来の強度が出る。充填用のセメントの場合、固いので最初に粉を二分割して練っていった方が練りやすい。接着性グラスアイオノマー系レジンセメントは

柔らかいペースト状になっていて、スパチュラの先端部分だけで簡単に練れてしまうので注意しないと逆に練和が不十分になってしまうことがある。スパチュラの腹で押し広げるようにしっかりと練り込むことが重要である。

アルジネート印象、石膏練和と注入実習では、トレーの選択、試適、粉／水の計量、練和、トレーへの盛りつけ、印象採得、石膏の計量と練和、脱泡、印象への注入、模型の撤去という一連の流れの中での重要なポイントを解説しながら実習が進められた。印象材も石膏も混水比を守ること、粉末は湿気を吸いやすいので計量後はケースの蓋をしっかりと閉めること、計量カップで粉をすくったら軽く1回擦り切ること（強く押し付けて擦り切ったり何度も繰り返して擦り切ると、粉が圧縮されてしまい固練りになってしまう）、印象採得後は唾液や汚物などを軽く洗い流し、よく水滴をとった後、寸法変化を防ぐためにも印象採得後はできるだけ速やかに石膏を注ぐこと、などがポイントとなる。アルジネート印象材と相性が高い石膏は硬石膏である。印象材では粉に水を入れるが、石膏では水に粉を入れる。30秒間きちんと練ることで模型は気泡が少なく滑らかな面になる。カスタードクリーム状くらいがよい。バイブレーターをかけながら一方向から流すこと。かけたら離すを繰り返せばトレーの端から過剰に垂れにくい。口蓋部分は薄くなりがちなので厚めに盛り上げるが、平らにしようとあまりぺたぺたと触らな



24名が参加した

いようにする。

最後のTBI実習は、赤染め実習ではなく、Bの鉛筆で歯面に印をつけ、それを歯ブラシで落とすという実習を行った。正しいブラッシング圧（50～100g。毛先を指の腹に当ててみて指が少し白くなる程度の力）で毛先を当てることができれば、2～3ストロークのブラッシングによって鉛筆でつけた印を落とすことができる。鉛筆だと患者さんが磨くのが苦手な部位に印をつけてそれを落とす練習を何度でも手軽にできるのでそれがこの指導法のメリットである。（なお、鉛筆を口腔内で使用することの安全性は鉛筆メーカーに確認済みとのこと）ブラシを当てる際のポイントは、歯面の形態を考慮して、刷面（つま先、脇、かかと）を使い分け、軽い力で落とすことである。



GC講師によるデモ

指導法のポイントとしては、患者さんが磨きにくく、気にしている部位や、炎症がある部位、手鏡で確認しやすい部位などをポイントで選び、一回で指導する内容をできるだけ絞ることなどである。また、最初は鏡を見ずに磨いてもらい、その後鏡を見ながら、落とせなかった部分を磨いてもらって、ブラシがあたる感覚を覚えてもらうというような指導も効果的である。ブラシの毛先の形状についてだが、ラウンドタイプは効率よくプラークを落とすことができる。テーパータイプは細かいところに入りやすい利点があるが、しっかりと付いたプラークは落とすににくいという特徴がある。

全実習の終了後、有働理事より閉会の挨拶が

あり、約2時間半のセミナーは終了となった。

このセミナーで行われた内容は日常の診療の中でも極めて基礎的なことである。しかし、言うまでもなく基礎的なことが最も重要で、セメント練和一つとっても、正しいやり方をしなければ確実に治療の質は落ちてしまう。口腔内は細菌、唾液、温度変化や咬合力などの様々な影響を受ける過酷な条件下にさらされている。歯科材料の特質と操作方法を理解し、きちんとそれを守って使用することで歯科材料の持つ能力を最大限に発揮できる。そのことが補綴物や修復物の精度を上げ、治療の長期的な予後をより良好なものとする。

今回のセミナーを受講したことで、スタッフの仕事に対するモチベーションのアップと診療のレベルアップにつながれば幸いである。最後に、受講生の様子を見て一つだけ気になったことがある。あえて苦言を呈すると、デモや講義の時に講師が重要なことをたくさん言っていたのに、メモを取っている受講生がほとんどいなかったことである。皆、熱心に取り組んでいただけにその点は実にもったいなく感じた。来年はさらに参加者が増え、一段と活気のあるセミナーになることを願う。

(医療管理 関 喜英)

『本当に正しく使ってますか？ 意味を間違えやすい諺・慣用句など』

【確信犯】

正 信念に基づき正しいと信じて行うこと
誤 悪いと知っていながら行うこと

【役不足】

正 力量に対して役目が軽すぎる
誤 役目に対して力量が足りない

【気が置けない】

正 気配りや遠慮をしなくて良い
誤 気を使う、油断できない

【天地無用】

正 上下を逆にしてはいけない
誤 上下を逆にしてもかまわない

【雨模様】

正 雨が降り出しそうな空の様子
誤 雨が降っていること

【御の字だ】

正 大いに満足出来る水準だ
誤 なんとか納得出来る水準だ

【奇特】

正 優れて感心なこと
誤 珍しいこと

【慄然】

正 失望してぼんやりしている様子
誤 腹を立てている様子

【圧巻】

正 書物などの中で最も優れている部分
誤 迫力があって圧倒される

【さわり】

正 曲や物語の中心となる部分
誤 曲や物語の一部。特に最初の部分

【潮時】

正 その行為を行うのに、一番いい時期
誤 いい時期を過ぎて、引き下がる時期

【失笑する】

正 思わず笑い出す
誤 笑いもでないくらいあきれ



ブクベアによるオープニング



宮本会長による開会宣言



腹話術による歯科クイズ



災害時のオーラルケアを指導

「おいしいと元気を支える」

～平成29年歯と

熊本地震の影響で前回中止となっていた「歯の祭典」が6月4日(日)、ウェルバルくまもとで開催されました。当日は好天に恵まれ、一昨年より100人増の1,200人を超える来場者となりました。

「おいしいと元気を支える丈夫な歯」を標語に、歯の衛生に関する正しい知識の普及を図り、歯科疾患の早期発見・早期治療、予防処置の励行を徹底することにより歯の寿命を延ばし、市民の健康保持増進に寄与することを目的として行っています。

今年は、熊本地震復興元年でもあり、熊本にも元気を与えてくれるにふさわしい小学生熊本応援バンド「ブクベア」が「未来へGO!GO! わくわく8020ソング」などを演奏し、会場を盛り上げてくれました。10時50分より宮本会長の挨拶、開会宣言、開場という段取りでしたが、待ちきれない相談者がブース前にスタンバイされている状態でした。今回は、震災後ということもあり、新たな試みとして「災害時の口腔ケアコーナー」を設置し、災害時備えておきたいケアグッズの展示、少量の水で行うブラッシング法などを紹介、648名の来場者と予想以上の反響がありました。8020健康づくりの会では、「けんちゃんの腹話術」で歯科に関するクイズを行い、子供たちの笑顔と笑い声が絶えませんでした。

反省点としては、会場のレイアウト上、歯の何でも相談コーナー、矯正相談コーナーが別室となり、コーナーの来場者が減少した事、また、午後3時以降は来場者が急激に減少した事などがありました。

開始終了時間の変更も来年の課題と感じました。各コーナーの来場者数は以下のとおりです。

フッ化物の洗口を啓蒙



丈夫な歯 2017歯の祭典

口の健康週間～

歯の何でも相談

| | |
|---------------|------|
| (口腔外科相談を含む) | 25名 |
| 矯正歯科相談 | 59名 |
| 小児歯科相談 | 90名 |
| 歯科衛生士会 | 165名 |
| お口の介護予防 | 63名 |
| 口臭測定 | 169名 |
| 技工士会 | 225名 |
| 熊本歯科衛生士専門学院紹介 | 127名 |
| 8020オープンハウス | 205名 |
| フッ化物洗口体験 | 241名 |
| お口の健康ゲーム | 157名 |
| おもちゃくじ | 364名 |

総来場者1235名という結果でした。

歯科医師会北部1・2・3支部、川尻支部、小島支部、南部支部から6名の先生方に参加いただき、「歯の何でも相談」コーナーにて、直接市民の方々の声を聞いて頂きました。

反省会に於いても、貴重な意見を頂き感謝しております。ありがとうございました。

歯科医師会唯一の対外的なイベントである歯の祭典。来年は、もっと盛り上げていきたいと思っております。ご協力のほど宜しくお願いいたします。

(地域保健 井野 健)



衛生士会コーナーも大忙し



口臭測定の希望者が多かった



応募された作品群



お楽しみの景品コーナー



8020を推進

開放型病院と共同診療

医療法人伊東会 伊東歯科口腔病院 病院長 伊東 隆三

はじめに

地域の拠点病院としての開放型病院（歯科）は、熊本県下には国立病院機構熊本医療センター、地域医療機能推進機構人吉医療センターと伊東歯科口腔病院があり、地域の先生方との連携および共同診療を通して、歯科医療の向上に貢献しているところである。

これからの歯科医療はチーム医療であり、かかりつけ歯科医と開放型病院の歯科・口腔外科との機能分担を図ることにより、歯科医療の高度化、高齢・有病者に対して安心・安全な治療を提供できるものと考えている。

本稿では「開放型病院」や「共同診療」の意義について述べる。

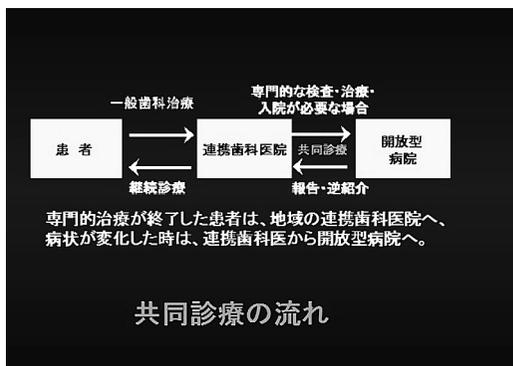
開放型病院と共同診療

開放型病院とは、かかりつけの先生方と協力して、患者中心の一貫性のある医療の推進ならびに先生方との研究・研修のため、病院の施設・設備の開放と共同利用を進めることであり、開放型病床は病床の一部を開放し病診連携の一環として先生方と共同診療を行うことである。これまで、診療所では認められなかった共同診療料が、開放型病院では開放型病院共同診療料（Ⅰ、Ⅱ）として1日につき1回連携歯科医師：350点、病院：220点が算定できる。ただし外来患者に対してではなく入院患者に対してのみ適用される。

共同診療の流れを図1に示す。連携歯科医の患者が、専門的な検査・治療のため入院が必要な場合、伊東歯科口腔病院に紹介・入院させ専門的な治療を行う。専門的な治療が終了したら紹介元の先生に治療経過および結果について報告し、その後継続的な歯科治療を行う。また、患者の症状が変化した場合は、再度伊東歯科口腔病院に入院させ専門的な治療を行う。この共同診療を通して、患者との信頼関係が密に構築さ

れ、退院後の治療の継続がスムーズに行われる。さらに、共同診療を通して医療の質の向上が図れるとともに、自己完結型医療から地域完結型への医療体系が実現できる。

現在当病院の連携歯科医師数は353施設、410名である。熊本市、菊池郡市、天草郡市、玉名郡市、山鹿市、荒尾市の7歯科医師会と協定を結んでいるが、歯科医師会会員のみでなくすべての歯科医師が利用できるのが特徴である。



開放型病床の利用

連携歯科医が紹介した入院患者の手術に立ち会う場合、手術日を確認しスタッフステーションへ共同診療する旨の連絡を行う。また手術前後の共同診療に来院する時は、日時をスタッフステーションに連絡することが必要である。共同診療に来院される先生方の利便性を考慮し、夜8時以降以外は、土・日・祝祭日を含めいつでも共同診療が可能である。

開放型病院として平成28年次（1月から12月まで）の実績を見ると、入院患者数は834名で紹介入院患者数は351名、その内連携歯科医師からの紹介は275名、紹介率は78.3%であった。しかし共同診療を行ったのは18件、13名で6.5%と低率であった。入院中の患者を紹介医が来院し診察すると、患者の喜びの表情が表れ退院後に紹介元でのスムーズな継続治療が行われる

ことを数多く経験している。このような患者を中心とした医療の質の向上を目指したこの制度をさらに発展させるためには、共同診療の必要性を先生方に理解していただくことが課題である。今後の高齢社会、有病者や要介護者の増加とともに、患者自身がQOLの向上を望んでいることを考えると、入院下で全身管理のもとに連携歯科医の先生方と積極的な共同診療を行うことが必要になると考えている。しかしながら、かかりつけの先生方が高齢者・有病者に対して安心・安全な治療のために、入院下での治療を

希望している割にはまだ少ないのが現状である。これは入院に伴う介護や経済的な問題、訪問や在宅医療と大きく絡んでおり、医療、福祉面のシステムを含めて改善が望まれる。

おわりに

今後、国民の多様な歯科医療に対するニーズ、高齢社会に対応するためには連携歯科医師とはもちろんのこと、医科、保健・福祉・介護施設との相互連携を推進し、地域の拠点病院となるように機能分担を図っていかなければならない。

医療情報最前線

——口腔内セネストパチーとは——

セネストパチー（体感異常症、体感幻覚症）とは、見た目などからは異常はないにも関わらず、奇妙な異常感や痛みなどがある症状をいいます。

現在の分類では単一の病気として認められておらず、統合失調症やうつ病の一つの症状、妄想性障害（身体型）に該当するとされています。

セネストパチーは頭、口の中、胸、腹、手足、皮膚などに症状があらわれ、発現部位で最も多いのが口の中となっています。口の中に限定したセネストパチーを「口腔内セネストパチー」といい、50歳以降に多くみられます。

症状として、歯の上にゴムみたいなブヨブヨした物があったり、口から糸のようなものが出たり、下顎が頭蓋骨に食い込むような症状を訴えます。

治療によって症状が改善することがあるものの、難治性で完治することはまれで、医療機関に定期的に受診することで症状の悪化を防ぎます。症状と上手に付き合っていくことも大切となります。

歯磨き巡回指導を行って

高平台小学校編



3クラス90名に指導

6月27日(火)10時45分～11時30分、高平台小学校(全校生徒約600名の規模)の歯磨き巡回指導があり立ち会った。同行者は熊本県歯科衛生士会中央支部より天野支部長はじめ7名、行政の方2名、歯科医師は地域学校歯科委員会より磯野誠一先生、校医の有働で今回3年生3クラス(90名)にわかれ歯磨き指導を行った。

高平台小学校では歯ブラシは全員学校に置いていて歯磨きの時間がある。さらに1年生から3年生までフッ化物洗口が実施されており校長始め父兄の理解の高さに加え、学校保健委員会が年2回定期的に開催され健康に関する意識の高さがうかがえる。

私が担当したクラスでは初めに挨拶をし、そ



模型を使い分かりやすく説明

の後歯科衛生士会の方が齲蝕、歯肉炎、フッ素の話を使い、わかりやすく話があり、子

供たちもしっかり聞いていた。その後染め出しで真っ赤になった口の中に対し、鏡を見て歯ブラシの使い方を、特に磨き残しが多い歯と歯の間、歯頸部など赤く染まった部分を指導した。歯ブラシの持ち方も鉛筆もちでよかったが、磨く強さが強い児童が多かった。最後に、3年生のこの時期は混合歯列期で虫歯がしやすいのでフッ化物の洗口と歯磨きを続けて頑張ってくださいと児童に伝えた。



フッ化物洗口を指導

3年生の齲蝕保有者はまだまだ多いため、いかに歯科医院に来院し健康な口腔内を作っていくかが課題となる。今後、校医として機会があるごとに父兄に児童の口の中の現状を話、歯科医院へ連れて行くように促したい。健診のみならず直接児童と触れ合う事で、校医としての児童の口の中を守るという意識もさらに強くなることを学んだ。

(高平台校医 有働秀一)

新入会員オリエンテーション

社保・医療苦情オリエンテーション

7月1日(土)15時より歯科医師会館にて医療管理委員会と社会保険委員会の共催による新入会員オリエンテーションが開催されました。毎年ビアパーティー前に行う恒例行事となっておりますが、今年は7名の新入会員を含む会員、未入会者合わせて40名近い先生方に参加していただきました。

医療管理委員会からは、高橋委員長より医療苦情に関するお話がありました。医療管理委員会に寄せられた様々な相談事例を挙げながらその検証を行い、対策のアドバイスをさせていただきました。近年は治療内容や治療費だけでなく、業務範囲やプライバシー保護に関することまで多様な相談が寄せられており、それに対して医療サイドが注意すべき点や取っておくべき対応

策について詳しく説明していただきましたが、最も強調されていたのは、何かトラブルが起きたらまず医療管理委員会に相談してほしいとのことでした。

続いて、社会保険委員会からは、福田、栗原両委員と井口理事より個別指導についての説明を行いました。カルテや交付文書の記載の仕方から、日計表や納品伝票の取扱い等日常の診療ではほとんど意識しないようなことに至るまで丁寧に説明させていただきました。

オリエンテーションは毎年、新入会員向けに医療苦情と個別指導についての説明を行ってまいりましたが、未入会の先生方にも参加していただいておりますので、会の最後に高松専務理事が歯科医師会に入るメリットを強調されまして閉会となりました。



井口理事の初仕事



約40名が参加する

(社保 西山拳規)



着物がお似合いです

第41回熊本市歯科



140名の出席だった



当たるかなー



美女の後ろでニッコリ



ウェルカム、ウェルカム

第41回熊本市歯科医師会親睦大会（七夕：ビアパーティ）が7月1日（土）19時（開場18時30分）より140名の会員、御来賓を迎えK K R ホテルにて開催されました。

思えば去年は震災の影響で親睦大会そのものの開催が危ぶまれましたが、早いもので震災後2回目の親睦大会です。また、今回の親睦会は宮本執行部3期目かつ新支部移行第1回目の親睦会でもあります。



矢毛石豊先生による乾杯



来賓出席ありがとうございます

さらに恒例となったショルダービアサーバーによるウェルカムドリンクが会長、副会長、新人理事よりサーブされました。昨年は好評すぎて不足した生ビールサービスは7リットル樽×4本準備（昨年度比 1：2、厚生委員会調べ）して臨みましたが十分ご堪能いただけましたでしょうか？さらにウェルカムビールにあつまみもセットしたため、スタート前から出来上がっている会員も多いようでした。



やったぜ！



ちょっとしゃべります

幾分陽気な雰囲気の中、宮本市会長の挨拶は政令指定都市を支える新支部体制の意義を説き、参加会員へ熊本市の口腔健康都市ビジョンを示すものでした。

また、今回は御来賓として熊本県歯科医師会副会長小島博文先生、同じく渡辺賢治、熊



皆、いいカメラ目線です



新執行部の紹介

医師会親睦大会



とても嬉しそうー

本県歯科医師会専務理事牛島隆先生の御三人に御出席をいただき代表として渡辺賢治先生より御挨拶をいただきました。さらに県歯科医師会からは御樽もいただいております。

その後、矢毛石豊先生の乾杯の音頭で宴が始まりました。今年も夏の風情と伝統を重んじ浴衣しセブタント3名が爽やかさと涼しさを添えた会場は生ビールをはじめ瓶ビール、日本酒、焼酎、ワイン、ウヰスキー等が雰囲気陽気にし親睦が深まってきました。

途中で高松専務の手慣れたマイクパフォーマンスで新役員、理事会の紹介いただきました。

今年のビンゴゲームの景品も震災によりダメージの大きい地域を中心とした県産品を選択し地域復興の一助といたしました。熊本酒蔵のお酒と焼酎、福田農場のジャムやドレッシング、あさぎり農園のお野菜パスタとお野菜素麺、他にも熊本銘菓の袋詰めです。何れも司会進行担当の長 忍先生選りすぐりの品々です。

大いに会場が盛り上がったところで楽しい時間も終わり、最後は田中弥興先生に万歳三唱の御発声をいただき終宴となりました。

今回は厚生委員の半数が移籍等により入れ替わった為、旧委員のサポートにより運営されました。お疲れ様でした。

(厚生 嶋田英敏)



今期もよろしく願います



来賓の渡辺県歯副会長



ちょっと酔ったかな



カメラ来たー、集合



どれにしようかな



新支部長の紹介



田中副会長による締め

2年間、お疲れ様でした!!

合同委員会



役員一同で罰ゲーム

宮本執行部の2期目を終わるにあたり、委員会及び支部長を一堂に会しての合同委員会が6月8日(木)開催されました。今回は、前回の山本屋から、雰囲気を変えて、日航ホテル2Fのbuffetダイニング「アソシエッド」。椅子に座り、バイキング形式で食を堪能しながらの会食となりました。

この2年は、本会歴史上でも大きな変革の時期になったと思います。会員種別の変更・会費の均等割一本化とそれに伴う会費の見直し・行政区割りにあわせた支部の再編など、多岐にわたる改変を行いました。また、2度と経験することのないであろう熊本地震も重なりました。これらの事柄への、会員ならびに各種委員会委員の

先生方の協力への感謝を言葉に会長の挨拶が行われました。渡辺副会長の乾杯の後、酒宴に移りました。

ホテル自慢の食事を堪能するため、執行部の出し物は控えめに、大いに飲んで食べていただきました。委員会の席を越えての談笑の輪があちらこちらにあり、飲む先生あり食べる先生ありと、それぞれの時間を楽しく過ごされていたようでした。

しかし、そこは、厚生委員会もだまっています。出し物は、各委員会代表による、カレー試食会。しかし、そこには、1名のみ激辛エキスをいれたカレーがあるというイベントが用意されていました。いわゆるロシアンルーレット



感謝の言葉を述べる宮本会長



罰ゲームで賞品ゲット



永松聖隆氏による締め（中央）

的イベントです。色も臭いも同じスプーン1杯ののったカレーを同時に食べるというものです。当たった先生は、悶絶必死!!我慢できずに、水を口にする場面があり、大いに盛り上がりました。

2時間という時間はあっという間にすぎ、いまでは定番の田中副会長の3本締めでお開きとなりました。各委員の先生方、支部長の先生方、2年間ご苦労様でした。

（高松尚史）

世界のことわざから

盲亀の浮木

大海の底にすみ、百年に一度だけ海面に出てくる盲目の亀が、海面に浮かぶ一本の木に出会い、その木にあっていて穴に入るのは容易ではないという、仏教の説話から。

会うことがきわめて難しいこと、滅多に会えないことのたとえ。

浅瀬に仇波

思慮深くない者ほど、おしゃべりで騒ぎ立てることが多いということ。

高木は風に折られる

高い木は風を受け易く折れやすい。それと同様に地位や名声が高い者は他人から妬まれて、困難に合いがちであるということ

愛は屋上の烏に及ぶ

人を激しく強く真剣に愛すると、その愛した人が生活している家の屋根に止まっている烏すらも愛するようになる。つまり愛する相手自身だけでなく、その関係する全てに対して愛情を注ぐようになるということ

日陰の豆も時が来ればはぜる

日陰で育った豆でも時期が来れば自然に鞘は割れてはじけるように、心身の発達が遅れているものでも一定の年齢になると思春期を迎えるものだというたとえ

鼎の軽重を問う

国を治める者を軽んじ、これを減ぼして天下をとろうとすることや、人の実力を疑って、その地位から落とそうとすることのたとえ。現在では、人の力を計る意味や相手の内情を見透かして、その弱みにつけこむ意味に使われる

訪問診療における窒息・誤嚥予防の重要性

医療法人共愛会 共愛歯科医院 園田 隆紹

はじめに

世界でも類を見ない超高齢社会の我が国では、今後高齢者人口の増加がさらに進み、いわゆる「団塊の世代」が75歳になる2025年には3500万人に達するという試算も出ている¹⁾。

さらに我が国における年間の死亡者数は2010年に約119万人であったものが、2030年には約160万と約40万人の増加が予想される²⁾ (図1)。

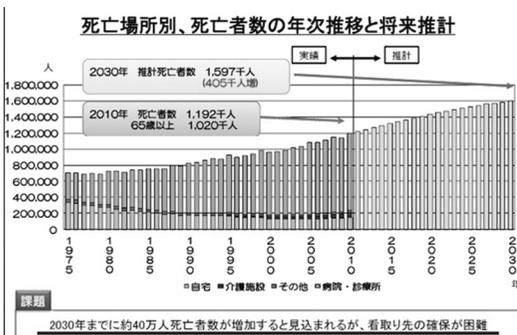


図1. 死亡者数の年次推移と将来推計²⁾

これら増加分の看取りをこれまでのように医療機関中心で対応することは今後非常に難しい。これに対して国は地域包括ケアシステムの推進で対応を図っている³⁾。本システムは可能な限り住み慣れた地域で、人生の最期を迎えられるために地域の包括的な支援・サービス提供体制の構築を推進していくという内容で、その中には看取りを見越した在宅介護および在宅医療の充実重点を置くという内容が盛り込まれている。今後訪問歯科診療のニーズも施設や病院から、在宅へシフトされていくものと考えられる。

在宅療養高齢者の特徴

在宅療養高齢者の約9割が経口摂取をしているものの、実際にはその約半数が十分な栄養がとれておらず。またこれら高齢者の介護者の半数以上は65歳以上の高齢者であることから⁴⁾、在宅療養高齢者の食環境は十分であるとは言い

難い状況である。

また、現場では経口摂取が妥当であると判断されていても、実際に嚥下機能の画像診断を行うと嚥下機能の低下を認め、誤嚥・窒息のリスクが非常に高い、もしくは実際に誤嚥しているケースを介護の現場で度々遭遇する⁵⁾。言い換えれば在宅療養者は経口摂取を行っているものの、摂食・嚥下機能に少なからず問題があり、誤嚥・窒息といったリスクが潜在的に存在するケースが多いといえよう。以上のことから訪問歯科診療が期待されることは、歯科治療はもちろんのこと、補綴物や歯牙の脱落などによる窒息や誤嚥のリスクマネジメント、さらに可能であるならば咀嚼や嚥下機能の評価や、現存する機能で適切と思われる食形態の提案や食介助の方法などのいわゆる食支援まで行えることであろうと予想され、介護者の負担も減り、歯科医療従事者が在宅介護の現場でさらなる貢献ができるものと考えられる。以上より我々は歯牙や歯周組織の痛みや腫脹等の急性症状を取り除き、欠損部への補綴といった治療だけを行うのではなく、窒息予防のための管理や食支援を行うことが重要であると言えよう。

治療から管理へ

1. 窒息・誤嚥の管理の重要性

我が国における不慮の事故による死亡者数のうち窒息が原因のものは第1位である⁶⁾ (図2)。

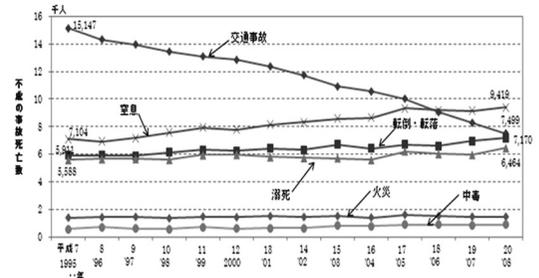


図2. 主な不慮の事故の種類別にみた死亡⁶⁾

また窒息の前駆段階ともいえる誤嚥事故は、70歳以上の高齢者が80%以上と高い割合を占める（図3）。また誤嚥・窒息の原因物質はパンや餅といった食品のみならず、痰やプラスチック類また義歯といった大型の補綴物といった食物以外の物質も原因となりうる⁷⁾。要介護高齢者に対しては、どのような物質も誤嚥・窒息の対象物となりえると考え、管理を行っていくことが必要であることがわかる（図4）。



図3. 誤嚥事故発生年齢分布⁷⁾

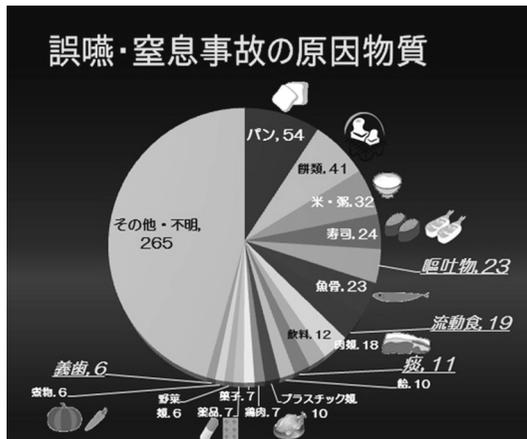


図4. 窒息・誤嚥事故の原因物質⁷⁾

安静時の咽頭腔内（図5）は、喉頭蓋が開放されており、呼吸するために気管の入り口は大きく開かれている。一方で誤嚥を防ぐための防御機構は披裂部の閉鎖（図6）および喉頭蓋の反転（図7）であり、これらは嚥下反射の際にのみ機能する。

通常食事をする際、咀嚼運動を行いながら咽頭腔内に食事を送り込む。その後速やかに嚥下

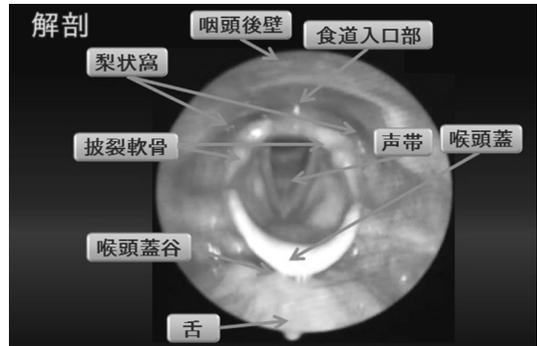


図5. 安静時の咽頭腔の解剖



図6. 声帯披裂部の閉鎖



図7. 喉頭蓋の反転

Study

反射が惹起され上記の防御システムが働くのであるが、認知機能の低下や加齢により、咽頭腔内に食物や水分が流入後の嚥下反射の惹起が遅れることがある。もし口腔内で水分保持が十分に出来ずに嚥下反射が起こる前に、水分が咽頭腔内に流入するならば、喉頭蓋が開いた大変無防備な状態で水分が流れ、誤嚥のリスクが非常に高まることがわかる。

歯科治療の際はこのような咽頭腔内の解剖や喉頭防御のメカニズムを理解し、誤嚥を回避できるような対策を意識して、歯科治療や口腔ケアに臨むように心がける必要がある。

以上より、訪問歯科診療では窒息・誤嚥のリスクマネジメントが重要であることがわかる。

2. 補綴物・歯牙の誤飲・誤嚥

訪問歯科診療時における偶発症として、誤飲・誤嚥事故の頻度が多い⁸⁾ (図8)。

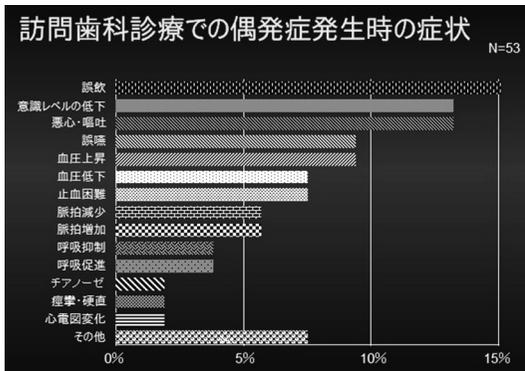


図8. 訪問歯科診療での偶発症発生時の症状⁸⁾

訪問歯科診療対象者の多くは認知機能が低下しており、もし脱落した補綴物や破折した歯牙などを誤飲・誤嚥しても訴えない場合も少なくない。実際に部分床義歯を誤飲したにも関わらずに、何の訴えもなく胸部X線写真にて誤飲が発覚したといった症例や8歯連結したブリッジを誤飲したものの本人からは何の訴えもなかったが、後日撮影した腹部X線写真にて補綴物の誤飲が発覚した症例も経験した (図9、10)。

高齢者では咽頭の感覚の低下があり、さらに認知機能を認める症例では、咽頭の異物の感覚を失認する場合もあり、通常では考えられない

ような大型の補綴物誤飲・誤嚥の危険性が訪問診療の現場ではあるということを念頭に入れておく必要がある。



図9. ブリッジ誤飲後の腹部X線写真 (誤飲したブリッジ。十二指腸付近に補綴物があるのがわかる。1週間を要し自然排泄された。)

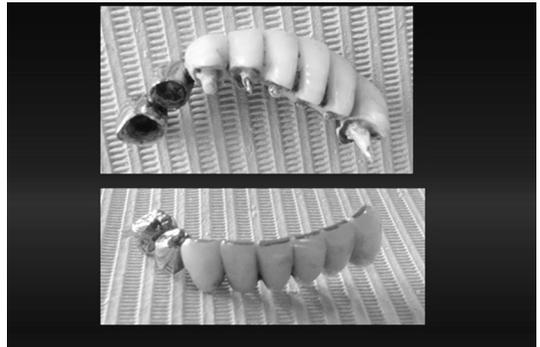


図10. 排泄されたブリッジ

また、誤飲・誤嚥した補綴物や歯牙が内視鏡下で摘出できなければ、開胸や開腹手術によって摘出するしか方法はなく、それら処置の際に入院臥床上での安静が余儀なくされる場合も想定される。それによりADLの低下、摂食・嚥下障害やさらなる低栄養のリスクの増加といったことも考えられるので、補綴物・歯牙の誤飲・誤嚥の対策は要介護高齢者にとって非常に重要であることがわかる。

3. 補綴物・歯牙の誤飲・誤嚥対策

訪問歯科診療対象者の多くは認知機能が低下している場合が多く、本人に対する注意喚起はあまり有効ではないと考えた方がよい。まずは

介護者に補綴物・歯牙による誤飲、誤嚥の危険性を十分に伝える必要がある。当院では誤飲・誤嚥を注意喚起するためにパンフレット（図11）を作成、在宅介護者、ケアマネージャー、施設、病院等に配布している。



図11. 誤飲・誤嚥の注意喚起のパンフレット

要介護高齢者を治療する際の注意点をまとめる。

1. 定期的に歯式を確認する。
2. 動揺歯、歯頸部の齲蝕は早目の処置をおこなう。
3. 窒息のハイリスク患者を把握し該当患者には極力クラウン・インレーの処置を避ける。
4. 小型の義歯（片側処理）は避ける。

当院では管理下の患者では月に1回は歯式の確認をするようにしている。欠損歯列の場合は、補綴の脱離や歯牙の破折等は特に気づきにくいので、歯式の確認は重要になってくる。

また、動揺歯の処置はもちろんであるが、歯頸部の齲蝕の処置も必要である。対応が遅れて進行すると歯頸部から歯牙が折れて破折する危険性があるので、早めに処置することが重要である。もし治療拒否が非常に強くして充填処置が

困難な症例の場合、齲蝕の進行を抑制する薬物塗布などを行う場合もある。

小型の義歯は誤嚥のリスクのみならず、管理も大変である場合が多い。認知機能が低下している症例で、少数歯欠損の場合はあえて経過観察をおこなうのも1法である。

おわりに

高齢者人口の増加や地域包括ケアの推進に伴い、歯科も看取りを見越した医療介入を今後求められることが予想される。

終末期では病状、家庭環境、介護者や要介護者の価値観がさまざまで、画一的な対応やマニュアルだけでは困難な事例が多い。これまでの治療のゴールは「治癒」であったのが、看取りの症例になると、ゴールが「死」となるわけである。それゆえに歯科治療や摂食・嚥下リハビリテーション、口腔ケア等いかなる介入を行っても立ち行かない場面に遭遇する機会が増えてくることが予想される¹⁰⁾。その際に「寿命だから仕方がない」と諦めるのではなくて、出来ることと出来ないことの仕分けを行い、少しでも出来ることを探すことが患者やその家族にとって大切なことではないかと考える。

例えば終末期では摂食嚥下リハビリテーションで機能を高めて経口摂取を可能とし、口腔ケアを行うことで肺炎を予防するといった事が困難であっても、経口摂取が困難となってくる時期や肺炎のリスクを予測すること。またそれを患者家族と共有しながら終末期に向けての準備のために口腔内の管理を行うことはそう難しいことではないと考える¹¹⁾。

看取りを見越した歯科医療のゴールは、窒息事故を可能な限り回避し、安らかな最期を迎える準備をすることではないかと考える。そのためには、まずは窒息事故を予防するための口腔内の管理を行うことが重要であると言える。また可能ならば要介護状態になる前の段階で、定期的に歯科でのメンテナンスで口腔内管理を行う習慣を健常時より行うことがさらに重要であると考えられる。

参考文献

- 1) 内閣府 平成25年度高齢化の状況及び高齢社会対策の実施状況。
http://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2014/zenbun/s1_1_1.html
- 2) 厚生労働省 中央保健医療協議会 総会（第198回）議事次第 入院、外来、在宅医療について（総論）5-7。
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000001qd1o-att/2r9852000001qd6n.pdf>
- 3) 厚生労働省 地域包括ケアシステム。
http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureis ha/chiiki-houkatsu/
- 4) 地方独立行政法人 東京都長寿医療センター 研究所：在宅療養高齢者の口腔機能に関連した課題に関する調査研究事業報告書（平成22年厚生労働省 老人保健推進等事業）。2012；1-113
- 5) 服部史子、戸原玄、中根綾子、ほか. 在宅及び施設入居摂食・嚥下障害者の栄養摂取方法と嚥下機能の乖離. 日摂食嚥下リハ会誌 2008；12：101-108。
- 6) 厚生労働省 不慮の事故による死亡の年次推移（2）主な不慮の事故の種類別にみた死亡数の年次推移。
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/tokusyu/furyo10/01.html>
- 7) 芦田 貴司、小野 圭昭、田中 栄士、ほか. 阪神7地区における誤飲・誤嚥事故の実態調査 平成16～18年の各市消防局への救急要請。日摂食嚥下リハ会誌2010；14：123-133。
- 8) 中島丘：歯科訪問診療での安全性確保のためのガイドライン作成。日歯医学会誌2005；24：61-70
- 9) 藤島一郎：嚥下障害治療における内視鏡（鼻咽腔ファイバースコープ）検査FOOD TESTにおける咽頭残留の評価、平成12年度厚生科学研究費補助金（長寿科学総合研究事業）摂食・嚥下障害の治療・対応に関する総合的研究。平成12年度厚生科学研究費補助金研究報告書2001；17-22
- 10) 園田隆紹：熊本県の訪問歯科診療における要介護高齢者に対する嚥下評価の現状と問題点について。日摂食嚥下リハ会誌 2013；17（3）：S206
- 11) 野原幹司：認知症患者の摂食・嚥下リハビリテーション。南山堂、東京2011；69-92

委員会紹介

厚生委員会



- ①氏名
- ②開業場所・支部・開業年数
- ③家族構成
- ④最近感動したこと・憤慨したこと
- ⑤委員会に所属しての感想
- ⑥趣味・特技・私のこだわり等



- ①嶋田 英敏
- ②中央区辛島町2-1
中央区第2
15年
- ③妻・長男・次男・長女
- ④感動したこと…「この世界の片隅に」は良かったなー。
- ⑤理事になってしまった。
- ⑥私のこだわり等…日向を避けて生活する。



①長 忍

②南区島町
南区第1
16年

- ③嫁・子供3人（長女・長男・次女）・猫1匹
⑤厚生事業で多くの会員の満足がえられるよう。



①秋山 清

②銀座通り
中央区第2
14年

- ③成人した娘2人
④感動したこと…ドライバーの方向性、飛距離が以前より良くなったこと。
憤慨したこと…西日本歯科医師親善ボウリング大会でブービー賞だったこと。
⑤引退するはずでしたが、諸事情で今期も続投することとなりました。
会員親睦がメインの本来の厚生委員会に戻るようですので、皆様を笑顔に出来るよう頑張ります。
⑥趣味…上達を目指しているゴルフとボウリング
特技…ビールと煙草の味で、健康状態を把握できること。
私のこだわり等…壁に当たったら、初心・基本に戻ること。



①川野 智美

②北区清水新地3-5-54
北区第2
1年

- ③父と妹と同居しています。
④感動したこと…家族の愛
⑥野鳥の会に所属していますが、この頃参加できてません。



① **上村 裕希**

② 熊本市春日
西区

4年目に突入しました。

③ 妻・娘2人・息子1人の5人家族です。

④ 感動したこと…ちょっとへこんだ時の妻からのフォローでしょうか。

憤慨したこと…いつも楽しく生きておりません！と思いたいです。

⑤ まだ何も分かりません。これから一生懸命頑張りたいと思います。

⑥ 剣道・釣りが好きです。



① **田中 雄大**

② 東区花立5-9-25
東区第2
3年

③ 妻・長男（6才）・長女（3才）

④ 感動したこと…長男が運動会で頑張っている姿。

⑤ 声をかけていただいた事をととてもありがたく思います。仕事の内容等、全くわからない事ばかりなのでご迷惑をおかけしないか心配です。

⑥ スポーツ。

学術委員会



- ①大塚 昭彦
- ②北区麻生田
北区第2
17年
- ③妻・長女・長男・次男の5人
- ④感動：反抗期真っ只中の息子が、私の身長を
超えたこと！
憤慨：北朝鮮のミサイル発射でしょうか？
- ⑤他の先生方の、臨床への拘りにいつも刺激を
受けてます。
- ⑥サッカー観戦とドライブ。



- ① 村上 慶
- ② 城山大塘
西区
15年
- ③ 3人（娘一人）
- ④ 感動：ゴルフで初めて80台だったこと。
憤慨：子どもの虐待事件。
- ⑤ 委員の先生たちに恵まれていると思います。
- ⑥ 趣味：ゴルフ
特技：英会話
こだわり：ビール



- ① 清水 幹広
- ② 熊本市北植木町
北区第1
開業21年
- ③ 妻と娘3人
- ④ 震災直後こそ何か役に立てればといろいろ奔走したが、1年あまり経過した今、忘れかけていることに、自分自身を残念に思う。
- ⑤ よろしくお願いします。
- ⑥ 海に出ること
「海はいいなあ〜」と、強く実感しています。



- ① 関 光輝
- ② 西区二本木
西区
12年
- ③ 妻・長女・長男・次女・三女
- ④ 2月に子供が生まれました。
首が座る、沐浴する、ゲップする、笑う…全てに感動です。
- ⑤ 平成18年に学術委員会に入りまして、もう10年以上経過していました。その間、私が学術的なことを委員会の中でやってこれたかどうか…疑問です（笑）
- ⑥ スタッフを大切にすること



- ①山口 英司
- ②熊本市東区新外
東区第2
開業11年
- ③妻と息子一人
- ④フェデラーとナダルの復活は素晴らしいです。
錦織、頑張れ！
- ⑤皆さんいい先生ばかりで、仲良くしてもらって
ます。ありがたいです。
- ⑥テニスを少しやりますが、最近はできてませ
ん。



- ①久木田 大
- ②熊本市東区湖東
東区第3
6年目
- ③妻・子供2人
- ④宮里藍の引退
- ⑤勉強になります。
- ⑥趣味スポーツ観戦、今年は熊本ヴォルターズ
が面白い。



- ①椿 賢
- ②熊本市西区上代
西区
11年
- ③妻・長男（5歳）・マルチーズ（牡11歳）
- ④宮里 藍選手の引退会見をみて感動しました。
- ⑤場違いだったなーと反省しております。
- ⑥信用できる人・物事を大事にする。

社会保険委員会



- ①井口 泰治
- ②東区若葉3丁目
東区第3
23年
- ③妻・長女・次女・長男
- ④憤慨というか、テロはなくなるのかと悲しい気持ちです。
- ⑤すごく頑張って活動していると思います。
あとは私がしっかりすれば…。
- ⑥息子の野球を見るのが楽しみです。



- ① **金本 良久**
- ② 新大江 2丁目9-1
中央区第3
21年
- ③ 妻・次女（大学2年）・長男（高校3年）
家の近くに長女夫婦と孫（1才）がいます。
- ④ 大輔（長男）が高校総体空手道大会で奮闘する姿に感動しました。
- ⑤ 会員の皆様のお役に立てるよう努めます。
- ⑥ バドミントン、走ること、どちらも楽しむだけでなく目標を持って頑張りたい！



- ① **栗原 健一**
- ② 熊本市新町
中央区第2
11年
- ③ 妻と子供3人です。
- ④ 北朝鮮のミサイルには、恐怖と憤りを感じます。
- ⑤ 10年目くらいになります。社会保険委員会の中で知識が一番少ないと思いますが、微力ながらお役に立てればと思っております。
- ⑥ 20年ぶりにバイクに乗っています。しばらく怖かったのですが、運転を思い出してきて晴れた日に乗るのは楽しいです。



- ① **宇治 寿隆**
- ② 熊本市中央区大江
中央区第3
10年
- ③ 家族なし
- ④ 感動したこと：宮里 藍引退。
憤慨してること：地震後復興の行政業務の遅さ。
- ⑤ 熊本県の平均点数の低さを何とか改善するために頑張らなければならない。
- ⑥ 趣味：ギター・歌・たまにゴルフ。
こだわり：飯・酒は美味しい物にかぎる！



- ①西山 挙規
- ②植木町鑑田
北区第1
1年
- ③独身
- ④トランプのパリ協定離脱に憤慨。
- ⑤非常に勉強になります。
- ⑥釣りを始めました。



- ①福田 勇人
- ②熊本市南区富合町
南区第2
開業7年目
- ③妻・娘（1歳）
- ④先日、娘に初めてパパと呼ばれたとき。
- ⑤今度で3期目になりますが、委員の先輩方が優しいのに甘えて、全然知識不足のままですので、先輩方についていけるように頑張りたいと思います。
- ⑥趣味：卓球、釣り。



- ①添島 英輔
- ②熊本市桜町 添島歯科医院勤務
中央区第2
- ③妻・娘1人・息子1人
- ④小林麻央さんのこと。本当に良く頑張ったと思います。
- ⑤これからなのでよく分かりませんが、頑張ろうと思っています。宜しくお願いいたします。
- ⑥お酒、最近始めたハイキング



- ①宇都 和寿
- ②熊本市中央区段山
中央区第2
6年
- ③妻・子供2人
- ④子供の成長に日々感動しています。
- ⑤今季から医療管理から社保に配属転換し心機一転頑張ります。
- ⑥趣味は家族旅行。

医療管理委員会



- ①有働 秀一
- ②中央区南千反畑町10-5
中央区第1
17年
- ③妻
- ⑤委員会の先生方に恵まれ感謝しています。委員会として医療管理に係る情報収集をし、会員の先生方にお役にたつ情報提供を考えています。
- ⑥趣味は、銭湯めぐり（近場に限る）
こだわりは特にありませんが、毎日の生活を自然の流れに任せています。



- ①高橋 禎
- ②東区下江津
東区第3
14年目
- ③4人家族
- ④父の回復が思ったより早いこと。
- ⑤いろんな方と出会えることがうれしいです。
- ⑥月2回ですがシステムは続けています。



- ①関 喜英
- ②熊本市東区桜木
東区第2
開業13年目
- ③妻・娘（11歳）・息子（3歳）・柴犬（1歳）
- ④感動したことは、小林麻央さんのブログです。
愛と優しさに溢れる彼女の言葉や生き方に日々癒され、勇気付けられてきました。家族の大切さ、どう生きるかなど、本当に大事なことをたくさん考えさせられました。そして、彼女の最後の言葉にも涙しました。
- ⑤所属してたぶん10年を超えました。いつも楽しく活動しております。
- ⑥シアタールームでの映画鑑賞スポーツ鑑賞。最高です！



- ①町田宗一郎
- ②熊本市西区野中
西区
11年
- ③娘（19歳）・息子（17歳）2人とも県外へ。少し寂しい気分です。
- ④城山観光ホテルの温泉からの雄大な桜島に感動。
- ⑤有働理事を支えて頑張ります。
- ⑥マラソン 来季はフルマラソンを3時間10分代で走りたい。



- ①片山 晃紀
- ②西区島崎
西区
- ③妻・長女（小6）・次女（小3）
- ④長女の小学校最後の運動会で、成長に感動した。
- ⑤良い仲間・先輩と仕事が出来、充実している。
- ⑥釣り・ゴルフ



- ①森野 茂
- ②西区池田
西区
7年
- ③妻・長女（小4）・長男（3歳）
- ④感動したこと：長女の身長が1年で急激に伸びていたこと。
憤慨したこと：長男が幼稚園から山のようにダンゴ虫を持って帰ってくること。
- ⑤分からない事の多い労務の勉強ができて大変為になっております。今期も委員の先生方に色々教えて頂きながら頑張ります。
- ⑥知り合いの影響でSUP（スタンドアップパドルボード）を始めて、海の上でブカブカ浮かんでいます！



- ①赤城 忠臣
- ②熊本市南区
南区第2
2年
- ③妻・子2人
- ④子供の成長、テロ行為
- ⑤まだ何もわかりませんが諸先輩方に見習い、微力ながらできる限り頑張りたいと思っています。
- ⑥スポーツ観戦
特になし
特になし

支部だより

北部3支部最後の総会開催される 北部3支部

6月23日(金)20時より「松扇」にて、市歯会より田中弥興副会長、小野秀樹常務理事を来賓にお迎えして、北部3支部最後の総会及びお別れ会を開催した。

初めに谷口支部長より、惜別の挨拶と、本日を含め、永年幹事として北部3支部をまとめて頂いた中嶋隆志氏へのお礼の挨拶があった後、田中副会長より、支部再編の経緯を含めた来賓挨拶が行われた。

その後、昨年度の会務報告を支部長が行い、続いて会計報告を勇雅大氏が行い、監事の河上正氏より監査報告が行われ、これらに対して異

議なく全員一致で承認が行われた。

最後の協議では、支部会員より、年に一回くらい、たとえば忘年会などで北部1支部、北部2支部での合同忘年会をしたらどうかという意見が出て、これに対して谷口支部長が、北部1支部の田ノ上輝支部長と相談して実現したいとの回答があった。

以上滞りなく進行した後、監事の河上正氏の乾杯の音頭でお別れ会に入り、名残惜しく、かつ再会を期して宴は、最後まで話が尽きることなく続いて行った。



北部3支部 最後の総会

(北部3 温 永智)

新人です！よろしくお願ひします

新 入 会 員 紹 介



氏 名 おくむら ひろふみ 奥村 浩文
診療所名 奥村歯科医院
(診療所) 〒860-0847
熊本市中央区上林町1-19
電話／096-353-5448
生年月日 昭和56年 4 月22日
趣 味 外食
好きな言葉 楽しむ



氏 名 さとう くにひこ 佐藤 邦彦
診療所名 佐藤歯科クリニック
(診療所) 〒860-0845
熊本市中央区上通町7-10 パレス草人木 2 F
電話／096-288-4184 FAX／096-288-4133
生年月日 昭和56年 3 月16日
趣 味 マラソン
好きな言葉 文字とは月をさす指に過ぎない



氏 名 きた ゆきこ 北 夕貴子
診療所名 北歯科医院
(診療所) 〒860-0834
熊本市南区江越 2 丁目20-28
電話／096-326-4182 FAX／096-353-7255
生年月日 昭和47年 4 月14日
趣 味 映画鑑賞
好きな言葉 為せば成る



スポーツの広場



あつまるデンタルゴルフ会

| 4月23日(日) | | | 19名 | | | | |
|----------|----|----|-----|----|-----|----|-----|
| | | | OUT | IN | GRO | HD | NET |
| 優勝 | 山室 | 紀雄 | 47 | 47 | 94 | 25 | 69 |
| 2位 | 河野 | 敬明 | 49 | 46 | 95 | 26 | 69 |
| 3位 | 古賀 | 明 | 46 | 45 | 91 | 21 | 70 |
| 4位 | 田村 | 実雄 | 44 | 51 | 95 | 24 | 71 |
| 5位 | 三隅 | 晴具 | 44 | 42 | 86 | 14 | 72 |
| B.B. | 大森 | 秀則 | 56 | 55 | 111 | 25 | 86 |

| 5月14日(日) | | | 18名 | | | | |
|----------|----|----|-----|----|-----|----|-----|
| | | | OUT | IN | GRO | HD | NET |
| 優勝 | 樋口 | 博一 | 42 | 37 | 79 | 18 | 61 |
| 2位 | 中島 | 健 | 43 | 45 | 88 | 23 | 65 |
| 3位 | 北川 | 隆之 | 46 | 37 | 78 | 12 | 66 |
| 4位 | 関 | 剛一 | 51 | 40 | 91 | 25 | 66 |
| 5位 | 古賀 | 明 | 41 | 46 | 87 | 19 | 68 |
| B.B. | 大森 | 秀則 | 54 | 49 | 103 | 25 | 78 |

| 6月11日(日) | | | 21名 | | | | |
|----------|----|-----|-----|----|-----|----|-----|
| | | | OUT | IN | GRO | HD | NET |
| 優勝 | 原田 | 雅史 | 45 | 41 | 86 | 27 | 59 |
| 2位 | 安田 | 光則 | 46 | 39 | 85 | 20 | 65 |
| 3位 | 濱坂 | 浩一郎 | 45 | 52 | 97 | 31 | 66 |
| 4位 | 青木 | 道育 | 50 | 46 | 96 | 30 | 66 |
| 5位 | 寺島 | 貴史 | 48 | 50 | 98 | 28 | 70 |
| B.B. | 関 | 剛一 | 52 | 54 | 106 | 19 | 87 |

熊本デンタルゴルフコンペ

| 6月25日(日) | | | 8名 | | | | |
|----------|----|----|-----|----|-----|------|------|
| | | | OUT | IN | GRO | HD | NET |
| 優勝 | 稲葉 | 逸郎 | 40 | 42 | 82 | 11.7 | 70.3 |
| 2 | 大嶋 | 健一 | 44 | 45 | 99 | 15.8 | 73.2 |
| 3 | 渡辺 | 洋 | 51 | 46 | 97 | 23.8 | 73.2 |
| 4 | 三笥 | 司 | 42 | 44 | 86 | 12.3 | 73.7 |
| 4 | 添島 | 正和 | 52 | 44 | 96 | 22.3 | 73.7 |
| 6 | 川崎 | 俊明 | 47 | 44 | 91 | 14.6 | 76.4 |
| 7 | 甲斐 | 利博 | 49 | 52 | 101 | 21.7 | 79.3 |
| 8 | 椿 | 幸雄 | 56 | 59 | 115 | 33.7 | 81.3 |

熊本デンタル会

| 5月28日(日) | | | 9名 | | | | |
|----------|----|----|-----|----|-----|------|------|
| | | | OUT | IN | GRO | HD | NET |
| 優勝 | 渡辺 | 洋 | 48 | 50 | 98 | 23.8 | 74.2 |
| 2 | 稲葉 | 逸郎 | 40 | 46 | 86 | 11.7 | 74.3 |
| 3 | 川崎 | 俊明 | 46 | 43 | 89 | 14.6 | 74.4 |
| 4 | 工藤 | 隆弘 | 48 | 50 | 98 | 23.3 | 74.7 |
| 5 | 大嶋 | 健一 | 46 | 48 | 94 | 15.8 | 78.2 |
| 6 | 本田 | 亘 | 54 | 52 | 106 | 27.4 | 78.6 |
| 7 | 小柳 | 一哉 | 52 | 50 | 102 | 20.0 | 82.0 |
| 8 | 神戸 | 威 | 58 | 49 | 107 | 22.8 | 84.2 |
| 9 | 甲斐 | 利博 | 53 | 53 | 106 | 19.7 | 86.3 |

会 務 報 告

理 事 会

| 月 日 | 協 議 題 |
|-------------------------|---|
| 4月27日 5月25日 6月21日 | <ul style="list-style-type: none"> ・会務、会計、庶務報告 ・会務、会計、庶務報告 ・会務、会計、庶務報告 |

厚 生 委 員 会

| 月 日 | 協 議 題 |
|-------------------------|--|
| 4月21日 5月31日 6月26日 | <ul style="list-style-type: none"> ・合同委員会について ・訪問診療、介護について ・ビアパーティー打合わせ ・来期の委員会編成について ・ポスターについて ・ビアパーティー打合わせ |

医 療 管 理 委 員 会

| 月 日 | 協 議 題 |
|-------------------------|---|
| 4月19日 5月17日 6月15日 | <ul style="list-style-type: none"> ・UK内田会長講演会について ・救急歯科医療協議会について ・スタッフレベルアップセミナーについて ・医療管理学会出務について ・スタッフレベルアップセミナーについて ・医歯連携セミナーについて ・スタッフレベルアップセミナーについて |

広 報 委 員 会

| 月 日 | 協 議 題 |
|--|--|
| 4月4日 4月18日 4月25日 5月30日 6月27日 | <ul style="list-style-type: none"> ・中岳レイアウト ・中岳第1稿校正 ・中岳第2稿校正 ・かわら版について ・中岳反省会 ・コラムについて ・審議員、総会取材について ・中岳目次決め ・委員会写真撮影 担当決め |

地域学校歯科保健委員会

| 月 日 | 協 議 題 |
|----------------|---|
| 4月6日 5月1日 | <ul style="list-style-type: none"> ・2017歯の祭典（全体会議） ・歯の祭典のチラシ仕分け ・H29年度 歯みがき巡回指導担当医決め |
| 6月13日 6月23日 | <ul style="list-style-type: none"> ・歯の祭典のデータ集計 ・歯の祭典の反省会 |

社 保 委 員 会

| 月 日 | 協 議 題 |
|----------------|---|
| 5月19日 6月28日 | <ul style="list-style-type: none"> ・新しい技官の傾向と対策について ・5/24 シティFMの内容打ち合わせ ・来期の構造打ち合わせ ・7/1 オリエンテーションの役割分担、内容について打ち合わせ |

学 術 委 員 会

| 月 日 | 協 議 題 |
|---------------|---|
| 4月11日 5月9日 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後の予定について ・「熊本県糖尿病対策推進会議実務者研究会」開催について ・SAS講演会について ・市学術講演会について |
| 6月13日 | <ul style="list-style-type: none"> ・UK内田会長の座談会について |

編 集 後 記

今期で5年目になります。4年間など過ぎてしまえばあっという間の様な気がします。今期は、少し遊びも入れて、楽しい「中岳」を作っていきたいと思います。よろしくお願ひ致します。(N. O)

早いもので、今期も終わりとなりました。幸いなことに我々広報委員会は現行のまま、来期を行うことになりました。気の合う先生方とともに来期も実のある情報を届けれるよう頑張りたいと思います。(Y. O)

今任期もあっという間に終わりました。会員の皆様にわかりやすい広報を心がけて来ましたが、どうでしたでしょうか？来季も温理事の元、協力してより良い誌面をお届けしたいと思います。(M. A)

楽しい広報の皆様にも囲まれ充実した2年間を過ごすことができました。委員会のメンバーと行った鹿児島旅行は思い出に残るものになりました。また2年間頑張ることになり、皆様にご迷惑をかける事があるかもしれませんがよろしくお願ひ致します。(S. I)

今期で5期目になり、月日が経過するのがとても早く感じます。当委員会は、とても良いメンバーに恵まれ仕事がやり安いのが特徴だと思います。今期も私なりにガンバりますので、どうぞよろしくお願ひします。(N. H)

今期も同じメンバーでということで、より結束を固くしてより良い中岳をつくっていければと思います。今期は今まで以上に諸先輩方をサポートできるよう頑張ります！

(M. T)

今期も広報委員会としてお仕事をさせて頂くことになりました。任期も3期目となり、歯科医師会の先生方とお知り合いになる機会が増えました。人見知りの私にはとても有り難い事です。(D. S)

熊本市歯科医師会会誌

第 178 号

発行日 平成29年 8月12日発行

発行所 一般社団法人熊本市歯科医師会
熊本市中央区坪井2丁目4番15号

<http://kcd8020.com/>

[mail:kda8020@msg.biglobe.ne.jp](mailto:kda8020@msg.biglobe.ne.jp)

TEL (343) 6669

FAX (344) 9778

発行
責任者 宮本 格 尚

印刷所 コロニー印刷
熊本市西区二本木3丁目12-37
TEL 096-353-1291 FAX 096-353-1294